

2014 年 10 月 17 日

防衛省南関東防衛局

局長 丸井 博 様

厚木基地爆音防止期成同盟

委員長 大波 修二

第四次厚木爆音訴訟原告団

団 長 藤 田 榮 治

原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議

代 表 二見 昇

神奈川平和運動センター

代 表 福 田 護

オスプレイの飛来を中止すること、及び今後も米軍司令部に対し、
オスプレイの飛来情報の開示をさせるよう求める申し入れ書

またしてもオスプレイが厚木基地に飛来する可能性が伝えられました。

わたしたちは、9 月 24 日の貴職の回答に対し、防衛当局は周辺自治体を納得させるに足る十分な説明を行っていないし、オスプレイの事故に対する説明も不十分であること、安全な飛行に関する合意も守られていないこと、厚木基地をオスプレイの訓練拠点に使用することは安保条約の取り決めからも違反していることなど、いくつかの点から反論したはずです。

また、8 月 18 日の飛来後、綾瀬市・大和市から、遺憾の意と再飛来しないようにとのコメントも出されました。しかし、防衛省はこれら一連の地元からの発言に対し何らの釈明も行っていない。挙げ句の果てに米軍からの 9 月 18 日、10 月 2 日の、北富士・東富士におけるオスプレイの訓練通告です。これが答えでしょうか。さらに在日米軍司令官は、10 月 8 日に行われた神奈川県知事との意見交換会で、「オスプレイの飛来情報を提供するつもりはない」と言ったということです。

オスプレイの安全性についての不安は払拭されていません。10 月 1 日、ペルシア湾で、離陸に失敗し一時出力が失われるという事故も起きています。聞くにつけても、疑念は深まるばかりです。動力喪失はあり得ないのでオートローテーション機能はいらないという説明でしたが、現実にはそれが起こったということです。事故時、乗員のうち二人がすぐに海に飛び込んだという気持ちもわかります。在日米海軍司令官は、オスプレイは軍の中で最も安全だと表明されたようですが、一般の兵士は必ずしもそういう評価ではないということです。

また、司令官は、訓練もすでに常態化しているとも言ったようですが、地元は受け入れの意思を示してはいません。強行が常態化していると言い直した方

がよいのではないのでしょうか。米軍は、地元住民の安全を無視し、訓練を強行しようとしているのですから、日本政府防衛省としては、安全面をもう一度調査し、地元理解を得られるまで、米軍に待ったをかけるべきではないのでしょうか。

また、米軍機の飛行情報を開示することは、空の交通安全にとって欠くことのできないものです。米本国では、フライトプランも開示され、航路も限定されています。在日米海軍司令官は、日本の空の安全などどうでもいいということを行ったに等しく、日本政府としては聞き捨てならないものではないのでしょうか。

飛行合意が履行されているかどうかの確認も必要です。合意違反の事実を指摘されたくないがために、米軍は情報を開示したくないということでしょうか。

10月18日に予定されているオスプレイの飛来を中止するよう申し入れます。また、オスプレイをはじめとする米軍機の飛行情報について、今後とも事前に開示するよう強く求めます。